

4月のケース会議の日程調整と初回の通級予定日をLINEで担任の先生と保護者の方に報告させていただきました。伝わっていない方は連絡ください。

Support SE 愛LOVE友 Education

No.2

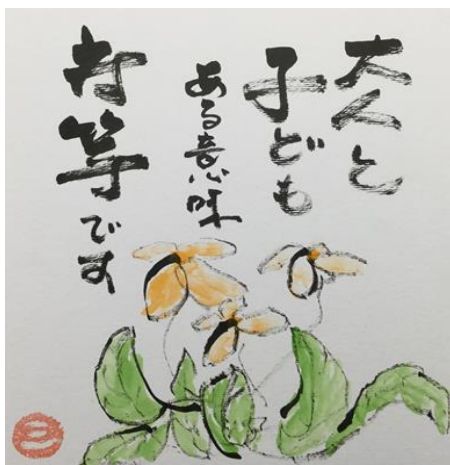
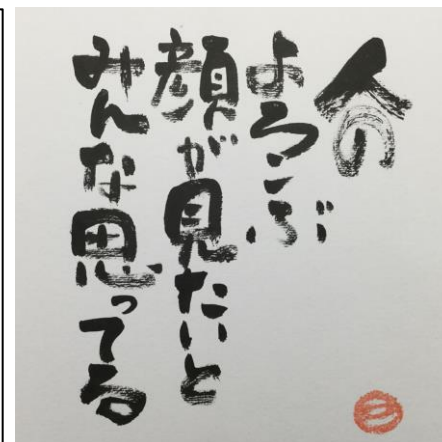
美瑛町立美瑛中学校 すだちの教室
2020年4月9日 発行
文責 特別支援教育コーディネーター三上山



人の見方や感じ方は、それぞれ違います。当たり前です。見る角度によって、輝き方が変わります。当然、良い面も、悪い面もあります。長所と短所は表裏一体なので、真実と思い込んでいると実は全然違っていることがあります。不思議なものです。そのことに気がつく人は、多様な見方ができる賢い人です。

思春期における教師と保護者の子育て褒め方スキル10

- ①中学生を褒めるのは難しい。行為を見よ、結果だけを見ないで!
- ②見返りを求めるな、ご褒美作戦は考え直せ。打算を戒めて!
- ③褒めることは認めること。自分が何をどう評価しているか、明確にして!
- ④人と人との繋がり、どう受け止められるかを考えて!
- ⑤本人の気持ちを受け入れ、気づいてあげること!
- ⑥みんなの前で恥は欠かせない。他の生徒の反応も考えて!
- ⑦第三者に話して、間接的に褒める!
- ⑧平素からプラスの声かけをしよう!嬉しい/好きです/ありがとうを添えて!
- ⑨自身の正直な感じを、素直に語って!
- ⑩称賛には愛と英知がいると知って!



思春期における教師と保護者の子育て叱り方スキル10

- ①短く叱れ!あっさり叱れ!さわやかに叱れ!残念!でもこれからも応援していく宣言をする
- ②最高の叱り方は、本人が自分で自分を叱ること!自分が悪かったと思えるように配慮!
- ③追い詰めるな...言い訳を聞け!その言葉を編集してフィードバックさせよう
- ④あなたメッセージ(指示、命令)よりも、わたしメッセージ(私はこう感じる)が有効!
- ⑤感情的になるな、固執するな!気持ちの余裕やゆとりは、呼吸コントロールで
- ⑥なじるな、愚痴るな、蒸し返すな!課題は何度も繰り返すものです。
- ⑦本人を見つめる/気づくチャンス!
- ⑧叱り方の基本は、1対1の個別指導!
- ⑨未熟な自分だから、叱る勇気をもちたい!
- ⑩小言が大事なことにつながると実感するとき、小言が「おおごと」として本人に受け入れられる可能性があります。

『一年を思うものは花を育てよ。十年を思うものは木を育てよ。百年先のことを自分の目で見ることが、なかなかできません。そしてまた、この思いは私たち教職員も、地域の皆様方も同じところで、ずいぶん前から「子どもたちの手先が不器用になど」、「心の器用さ」も失いかけているのではとの指摘がありま一方、子育てにあたっている私たちにも、私たちの親が、時間「手」を抜いているのではとの声も聞かれます。今、親が「手現実から目をそむけないこと。逃げないでありのままの我が子ども時代に親や周囲に認められることは、子どもが成長するはず。人は、認められることによって自信を得、充実感を得ます。子育てで大切にしたいことのひとつは「認めて育てる」なことも忘れてはならないことです。感情だけに流されず、辛子どもたちから「やった！」「できた！」という声が響いてくるご家庭や地域でのひとことも、どうかよろしく願いいたします。

学校という教育の場と社会の違いってなんだろう。

教育の範囲の中で、これは許されると思うことが
社会の中では、許されないことがあります。

それが昨今のニュースでは、結構浮き彫りになっています。

いじめや体罰、社会モラル欠如などが毎日のように取り上げられています。(日誌君にもいつも掲載さ

私自身、思慮に乏しく、考え方が甘く、保護者の方に自分よがりの自己中心的な押しつけをしてきた。
(私自身、何度も謝罪会見らしきことをしてきました。)

学校という組織でずっと生きていくとそれに気がつかないことがたくさんあります。

生徒の立場

保護者の立場

違った角度で 視点で

物事をみることができるようになりたい。

その上に

自分の冷静な判断力を身に付けていきたいです。

そのようなチーム美瑛中にもなりたいです。

てよ。百年を思うものは人を育てよ』という言葉があります。
。しかし、子どもには、ぜひ、いい時代をプレゼントしたいものです。親としては・・・。
じではないでしょうか。
ってきている」と言われています。そして、「手先の器用さ」とともに、コミュニケーションがうまくとれないな
す。
間をかけてきた子育ては姿を消し、「忙しい」という名のもとに、「手塩にかける」とか「手を尽くす」ことから
を打つ」べきことは、たくさんあります。
子を見つめること。そして、しっかりと「誉め」、きちんと「叱る」こと。(まだまだ、子どもなのでから...)
る上で、大きな力となるにちがいありません。子どもが自信を持って自分の道を歩いていくきっかけになる
を持ち、幸せになることができるのではないのでしょうか。ひいてはそれが、周囲の人を認めることにも繋がり
ということです。(でも、人が成長し、関わっていくには時間がかかること、学ぶということ自体に時間が必要
抱強く見守ることも大切なことです。)
ことを楽しみに、一丸となって頑張りたいと思っています。
す。

東近江市立五個荘小学校 校長 宮居 伝 学校便り引用(平成25年9月2日)

れています。)

ように感じています。